

平成27年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市少年自然の家 四日市市水沢市民広場
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2 四日市市水沢町252-63
指定管理者	名称 株式会社 小学館集英社プロダクション 代表者 代表取締役 都築 伸一郎 住所 東京都千代田区神田神保町2丁目30番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、毎月開催する調整会議において、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握するとともに、指定管理者が実施する主催事業や自然教室については、市職員が適宜行うモニタリングや参加者アンケート等を基に改善点等を協議しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	こども未来部こども未来課青少年育成室 TEL：059-354-8247 E-mail：ikuseishitsu@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営状況については、豊かな自然環境の中で、集団宿泊訓練、野外活動、自然探求等を通じて心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とした社会教育施設としての目的を十分に達成し、各項目とも、概ね事業計画に合致した管理運営が行われました。また、自然を活かした大門池でのカヤック体験や工作体験など民間のノウハウを活かした多様なプログラムを利用者に提供し、指定管理者制度導入の趣旨である効率的・効果的な運営がなされ、施設利用実績及び利用料金収入ともに指定管理初年度の平成25年度の実績から増加を続けています。

施設の維持・管理については、施設の老朽化、経年劣化に伴う故障や保守点検での指摘等に対して、適切に修繕を行うなど良好であると判断します。

施設運営や利用者への対応については、施設利用者や主催事業の参加者にアンケートを行い、直接、利用者からの声を聞き、改善点や要望、ニーズに応えるよう努力しています。アンケート結果をみても職員の対応等について高い評価が得られています。また、教育委員会指導課開催の自然教室運営委員会の中でも、指導課・学校等からの意見や要望について、「誠実に対応する姿勢が見られる。」という報告があります。また、周辺施設の環境学習情報センター、ふれあい牧場、スポーツランドと連携した4施設合同事業を年2回春と秋に実施したり、地域の祭り（もみじまつり等）や他の施設との共催事業、出前講座を開催したりすることで施設のPRに大きくつながっています。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

平成27年度主催事業については、年間を通して行う事業や野外体験活動、自然素材を活用した工作教室、市と連携した家庭の日応援プロジェクトなど施設周辺の恵まれた自然環境や民間のノウハウを活かした事業が開催されました。また、利用者からのアンケート結果における要望・意見を踏まえ、多くの市民が興味を持てるようなテーマ設定など事業内容を検討し、廃止・継続も踏まえて主催事業のさらなる充実を目指すことについて、職員間で検討を重ね、改善が見られます。今後は、利用者の高い満足度を維持しつつも施設職員としての資質や接遇の向上はもとより、野外活動等に関して、適切な募集定員数や対象者の見直し等の改善を図るよう指導を行います。そして、利用者の視点に立った社会教育施設として効果的な運営を進めるため、毎月の連絡調整会議を通じて、確認及び指導を行います。

また、今後施設の老朽化について、指定管理者と市が施設の現状を的確に把握し、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう、計画的に施設修繕を行う必要があります。

合目的性・公平性・効果性

少年自然の家条例・水沢市民広場の設置及び管理に関する条例及び仕様書に基づき適切に管理運営が行われました。利用の公平性・平等性の観点から、繁忙月（7月・8月）については、公開抽選会を行うなど、公平性の確保に努めていました。また、ホームページ及び市広報の他、民間の子育て情報誌等を活用するなど、主催事業の案内等の情報提供に努めていました。

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

自然を活用し、大門池でのカヤック体験や趣向を凝らしたキャンプ活動など、自然に親しむことの醍醐味を幅広く利用者に提供することができました。また、豊富な活動プログラムを準備し、天候に応じて柔軟に活動を変更することで利用者のニーズに対応していました。また、季節に応じた主催事業を実施し、幅広い年代が参加できるような活動の企画に取り組み、指定管理者として機能性を発揮していました。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

施設は、所長を中心に総務課（経理等を担当）、指導課（主催事業・受入事業を担当）の2課制により組織され、適切に運営されていました。毎朝の朝礼で緊急時体制の確認及び危機管理マニュアルの読み合わせ等を行うとともに、月1回以上の職員会議において、主催事業の企画や反省、修繕箇所への対応、安全管理、ヒヤリハット報告と対応策等を協議していました。管理責任者（所長）、防火管理者及び危険物取扱者も選任され、宿泊利用がある場合は、宿直1名・補助者1名計2名が配置され、非常時の誘導等に備えるなど適切に職員が配置されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

施設利用料の収入、給食業務受託者が使用する電気代・水道代の請求及び収入、人件費及び管理費等の支出については、月例の事業報告及び調整会議で領収書・経理簿等で確認し、適切に処理されていました。施設の保守点検等の報告書類も作成・整備され、適切に処理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

毎年、危機管理マニュアルと四日市市・少年自然の家・小学館集英社プロダクションとの緊急連絡体制表を見直し、作成しています。そして、感染症対応マニュアルやカヤックの安全基準指導マニュアル等も見直し、適切に対応していました。また、消防計画を作成し、消防訓練・避難訓練（7月15日、12月11日）を適切に実施していました。各種警報等の発令時には、利用者等に対して迅速に周知するなど適切に対処していました。

社会性（環境等への配慮）

利用者が出したゴミは原則持ち帰りであることを利用者に周知し、協力を依頼するなどゴミの減量に努めていました。野外炊事やキャンプファイア等での薪の使用についても、適量での使用を呼びかけるなど環境に配慮するとともに、施設内においても「電灯のスイッチはこまめに切る」等、節電に心がけていました。

経済性

指定管理初年度（平成25年度）から実施している開館日数を維持し、主催事業を創意工夫したことで、利用者は増加し、稼働率の向上につながりました。その結果、利用料金収入及び自主事業収入で当初計画より約320万円の増となりました。

支出については、広報活動も兼ねて、他団体との共催事業や出店を多く無料で実施したことで、支出が増加したもののサービスの維持向上を図りつつ経営努力をしたことで、年度当初計画より約80万円の増に留められました。その結果、収支としては約240万円の黒字となりました。

経営の健全性

貸借対照表、損益計算書等を分析した結果、経営は安定しており、特に問題はないと判断しました。

障害者雇用に対する取組み

法人における障害者雇用率は1.67%であり、法定雇用率を達成できませんでした。引き続き、連絡調整会議等において、障害者雇用を強く働きかけていきます。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成27年度

施設名	四日市市少年自然の家		所管課: こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町字大谷1423-2		設置年月: 本館 昭和62年11月8日 分館 昭和48年7月31日
設置目的	豊かな自然の中で集団宿泊訓練、自然探求等を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養い、心身ともに健全な青少年の育成を図る。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市少年自然の家条例(昭和62年3月31日条例第22号)		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	382,000㎡ (うち、ふれあいの森260,000㎡)
		延床面積 (㎡)	本館3,066㎡ 分館1,339㎡
		本館 構造: 鉄筋コンクリート(地上3階、地下1階) 宿泊定員177人 1階 事務室、医務室、会議室、浴室、総合研修兼体育館等 2階 宿泊室、食堂、リーダー室等 3階 宿泊室、研修室、リーダー室等 分館 構造: 鉄筋コンクリート2階建 宿泊定員101人 1階 研修室、大広間、創作室、乾燥室、リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、リーダー室等 キャンプ場、野外炊事場、ふれあいの森、自然の家駐車場	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。 少年自然の家における主催事業の実施に関すること。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関すること。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	358日	358日	計画通り
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
				計画対比
延べ利用者数		50,000人	59,500人	9,500人
平均利用率	平均	139.7人/日	164.8人/日	25.1人/日

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0
利用料金	20,250,000	23,751,570	3,501,570
事業収入	2,397,800	1,938,395	△ 459,405
その他	1,193,400	1,366,495	173,095
収入計	92,841,200	96,056,460	3,215,260
人件費	43,440,000	43,440,000	0
管理費	45,891,200	45,294,728	△ 596,472
消耗品費	1,846,800	2,311,144	464,344
燃料費	4,497,200	2,688,619	△ 1,808,581
印刷製本費	1,285,200	1,138,659	△ 146,541
光熱水費	9,833,000	8,547,599	△ 1,285,401
修繕料	3,267,000	3,411,172	144,172
通信運搬費	907,200	973,204	66,004
広告料	270,000	185,760	△ 84,240
手数料	3,132,000	3,103,560	△ 28,440
保険料	329,400	394,724	65,324
委託料	11,551,626	11,551,622	△ 4
賃借料	1,808,255	1,934,988	126,733
その他	7,163,519	9,053,677	1,890,158
事業費 (ソフト事業等)	3,510,000	4,909,300	1,399,300
一般管理費	0	0	0
支出計	92,841,200	93,644,028	802,828
収 支	0	2,412,432	2,412,432

施設概要調書

1. 施設の概要

平成27年度

施設名	四日市市水沢市民広場		所管課：こども未来部こども未来課 青少年育成室
所在地	四日市市水沢町252-63		設置年月：平成 4年10月11日
設置目的	市民がスポーツ及びレクリエーションに親しむことができる場を提供し、もって市民の健康で明るく豊かな生活の形成に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市水沢市民広場の設置及び管理に関する条例		
施設の概要	敷地面積 (㎡)	10,000㎡	
		延床面積 (㎡)	—————
	設備の概要	芝生広場 東屋、トイレ、水沢市民広場駐車場	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関する業務。 少年自然の家及び水沢市民広場の使用許可及び受入等に関すること。 少年自然の家における主催事業の実施に関すること。 少年自然の家の利用料金の徴収等に関すること。 少年自然の家及び水沢市民広場の施設並びに付属施設や設備の維持管理に関すること。 その他、少年自然の家及び水沢市民広場の管理運営に関して四日市市及び教育委員会が必要と認めたこと。 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	365日	365日	—
開館時間	設定なし	設定なし	—

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
延べ利用者数	25,000人	40,980人	15,980人
平均利用率	平均	68.5人/日	43.8人/日

4. 事業収支 (少年自然の家概要調書に含む)

平成27年度 四日市市少年自然の家 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	358日	358日	計画通り	適正に執行された。	適
開館時間	8:30~17:30	8:30~17:30	計画通り	宿泊者がある場合、その活動時間に応じて対応する等、適正に執行された。	適
事業開催(回)	66	66	計画通り	適正に執行された。	適

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用団体数	400	466	66	適正に執行された。	適	
延べ利用者数	50,000	59,500	9,500	適正に執行された。	適	
団体種別 利用人数	自然教室等(学校利用)	18,000	19,181	1,181	適正に執行された。	適
	青少年・一般・その他	17,000	22,118	5,118	適正に執行された。	適
	主催事業	15,000	18,201	3,201	適正に執行された。	適
稼働率	平均	72.0%	80.2%	8.20%	適正に執行された。	適
	平日	65.0%	71.8%	6.78%	適正に執行された。	適
	土日祝	90.0%	95.7%	5.73%	適正に執行された。	適

3. 事業収支 ※ その他：食堂委託業者からの光熱水費及びコインランドリーの収入

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	20,250,000	23,751,570	3,501,570	適正に執行された。	適
指定管理料	69,000,000	69,000,000	0	適正に執行された。	適
自主事業収入	2,397,800	1,938,395	△ 459,405	〔勤務体制：正職員7人、臨時職員8人〕 ・管理費の「その他」や事業費はすべての主催事業の経費(材料費等)である。毎月実施の「家庭の日応援プロジェクト」や施設開放等、参加費無料の事業が全66事業のうち、16事業ある。また、出前講座や他団体との共催事業において、「木ホルダーづくり」などの活動も無料で行えるようにし、多くの参加者があったため計画より、支出が増額となった。これらは広報活動の成果もあり、過去最高の利用者増となった。	適
その他収入	1,193,400	1,366,495	173,095		適
収入計	92,841,200	96,056,460	3,215,260		適
人件費	43,440,000	43,440,000	0		適
管理費	45,891,200	45,294,728	△ 596,472		適
消耗品費	1,846,800	2,311,144	464,344		適
燃料費	4,497,200	2,688,619	△ 1,808,581		適
印刷製本費	1,285,200	1,138,659	△ 146,541		適
光熱水費	9,833,000	8,547,599	△ 1,285,401		適
修繕料	3,267,000	3,411,172	144,172		適
通信運搬費	907,200	973,204	66,004	適	
広告料	270,000	185,760	△ 84,240	適	
手数料	3,132,000	3,103,560	△ 28,440	適	
保険料	329,400	394,724	65,324	適	
委託料	11,551,626	11,551,622	△ 4	適	
賃借料	1,808,255	1,934,988	126,733	適	
その他	7,163,519	9,053,677	1,890,158	適	
事業費(ソフト事業等)	3,510,000	4,909,300	1,399,300	適(条)	
一般管理費	0	0	0		
支出計	92,841,200	93,644,028	802,828		適
収 支	0	2,412,432	2,412,432		適

総合コメント

市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての無料イベントが実を結び、利用者が増加しています。その結果、収入については、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約320万円増となりました。支出については、サービスの維持向上を図りつつ、施設の日常点検の回数を増やして施設のメンテナンスをこまめに行うことで施設管理の経費削減に努めています。特に利用者が大幅に増加したにもかかわらず、燃料費や光熱水費にかかる使用量は例年並みであることから判断できます。燃料費は料金単価が変動することから、高騰した場合に備えて使用量を更に抑えられるよう運営の在り方や新電力の導入等を検討していく必要があります。収支としては、約240万円の黒字となりました。

平成27年度 少年自然の家及び水沢市民広場 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
	利用実績	<p>少年自然の家利用者は59,500人（うち水沢市民広場を利用した人はのべ40,980人）となり、目標の50,000人を大きく上回りました。多くの人が施設を訪れており、主な要因としては、次の3点が考えられます。</p> <p>①指定管理初年度の平成25年度から実施してきた年末年始の期間を除く全ての期間の開館が利用者に定着してきたこと。</p> <p>②利用者の声にしっかりと耳を傾け、ニーズに対応した事業や体験活動を実施していること。</p> <p>③自然の家職員の利用者への対応やサービスに対する評価が高いこと。</p> <p>また、利用者の満足度は98.6%と高い評価を受けています。さらに安全・安心に活動してもらえるように、御在所岳登山や長期テント泊体験事業等において、自然の家職員だけでなく、専門家を講師として招いたり、多くのボランティアスタッフと協働して実施したりする運営力も高く評価できます。水沢市民広場の利用者の増加については、自然の家に宿泊した団体が水沢市民広場を併せて利用する機会が多かったことや恒例となった水沢地区にある公共施設合同イベントの利用者が増えたことも影響しています。</p>	適
事業 収支	収入	<p>昨年度から実施している市民への周知・PRや利用者の拡大及びリピート利用に向けての取り組みが着実に利用実績の向上へとつながり、利用料金収入及び自主事業収入が当初計画より約320万円増となりました。</p>	適
	支出	<p>昨年度と比べ、利用料金収入及び自主事業収入が大幅に増加したとともに、全ての主催事業経費が計画より支出増となりました。これは、少年自然の家で体験できる活動をより多くの方に周知するために参加費を無料としたことに加え、他の施設との共催事業や出前講座をのべ17回開催したことにより参加者が増加し、約25,000人（昨年度比10,000人増）の参加者があったことで、材料費などのコストが計画より多くかかったことによるものです。</p> <p>日常的に全職員が施設内を点検し、簡易な修繕やふれあいの森の整備を作業員及び職員により行うなど、コストの削減に努めており、支出を抑える努力を適切に行っています。</p>	適

平成27年度 少年自然の家及び水沢市民広場 業務の履行状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	業務従業者の要件等	業務執行体制（各業務・作業責任者等）が明確になっているか、また、変更した場合連絡先を市に届出されているか	書面確認	H27.4.1書面確認。仕様書のとおり行われている。	適
	法令等の遵守	法令等で定められた書類を提出したか	書面確認	H27.4.1書面確認。関係法令に定められたとおり行われている。	適
	報告書等の提出	各業務計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H27.4.1 事業計画書確認。H27.4.20 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		自主事業の計画書・報告書は提出されたか	書面確認	H27.4.1 事業計画書確認。H27.4.20 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
		収支予算書・決算書は提出されたか	書面確認	H27.4.1 事業計画書確認。H27.4.20 事業報告書確認。月次事業報告書で確認。適切に執行されている。	適
	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月の連絡調整会議にて十分に情報共有が行われている。	適
	各種管理記録等の整備保管	各種業務計画書が整備、保管されているか	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		業務日誌等の報告書、点検記録は整備、保管されているか	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか（事業期間終了時まで）	書面確認	毎月の調整会議で書面を確認し、適切に保管されている。	適
		付保している保険を市に通知しているか（更新を含む）	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適
	非常時・緊急時の対応	緊急事態発生時の対処マニュアル（緊急連絡網の掲示を含む）が整備、保管されているか	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適
		緊急発生時、ないし危険が予測される場合に直ちに措置を講じたか	現地確認 書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。緊急時に備える体制は整えられている。	適
	建築物保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。
法定点検、検査は選任資格者の責任によって計画・実施されているか		書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適	
設備保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H27.5.21市担当者が現地にて確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
備品・什器等保守管理	取扱説明書	機器等の取扱説明書が整備・保管されているか	現地確認	H27.5.21市担当者が現地にて確認。適切に実施されている。	適
	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	H28.3.29書面確認。適切に実施されている。	適
外構施設保守管理	点検・保守	点検・保守は確実に実行されているか	書面確認	毎月の調整会議にて書面を確認。適切に実施されている。	適
清掃業務	清掃	清掃は確実に実行されているか	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
警備業務	業務等	業務が計画書に基づいて実施されているか	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び清掃状況確認。仕様書通り行われている。	適
		不審者に対し適宜質問をしたり、警察へ通報する等のマニュアルを作成しているか	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適
	鍵管理	マスターキー等の管理は適切か	現地確認	H27.4.20現地確認。仕様書通り行われている。	適
防災	マニュアルは作成されているか	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適	
植物育成管理業務	樹木管理	剪定時期等は適切か	書面確認 現地確認	毎月の調整会議で現地にて書面及び状況確認。仕様書通り行われている。	適
	花壇管理	四季の植栽は適切か	現地確認	毎月の調整会議で現地にて状況を確認。適切に実施されている。	適
施設利用案内	行事開催案内	パンフレット類は整備されているか	現地確認	毎月の調整会議で現地にて確認。適切に整備されている。	適
	ホームページ作成	ホームページは更新されているか	ホームページ確認	随時確認。適切に実施されている。	適
管理システム受付業務	機器管理	研修を実施しているか	書面確認 現地確認	月次報告書及び現地にて市担当者確認。適切に実施されている。	適
	システム管理	更新・変更は常になされているか	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適
		トラブルに対応したか	書面確認	H27.4.20書面確認。適切に実施されている。	適

総合コメント

法令の規定及び仕様書で定めた書類の提出及び経理簿、保守点検の結果等適正に処理されていました。調整会議では、毎月の利用状況、収支、職員の配置体制、保守点検の結果及び利用者アンケートの結果、翌月の自主事業計画について協議・確認を行い、適正に処理していることを確認しました。

平成27年度 少年自然の家 自主事業の実施状況 チェックシート

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
1 平成27年4月12日(日) RED隊①	対象：小4～中3 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：65人 参加者数：37人 ・入隊式 ・レクリエーション	2部構成で、第1部では、親子向けにRED隊の概要について、昨年度の活動の様子を映像で紹介し、参加者や保護者に見通しを持ちやすく工夫していた。第2部では、隊員同士の交流を図るため、レクリエーションを行い、隊員同士の打ち解ける様子が見られた。	適
2 平成27年4月18日(土) 山菜クッキング	対象：家族 募集人数：60人 形態：日帰り	応募者数：29人 参加者数：24人 ・山菜採り ・調理・試食	参加者から「山菜採りだけでなく、てんぷらにしてお腹いっぱいになり、一日楽しく過ごせた。」という声があった。昨年度までも好評の事業であるため、今回の参加人数は学校行事(土曜授業)を把握していなかったためと考える。計画の段階で日程の調整を図りたい。	適 (条)
3 平成27年4月19日(日) グリーン隊①	対象：小4～中3 募集人数：40人 形態：日帰り	隊員数：14人 参加者数：13人 ・入隊式 ・レクリエーション ・タンポポ観察	この一年間にグリーン隊として何を学んでほしいかや、どのような活動を行うのかをパワーポイントを使って隊長が説明を行った。隊員からは、「僕は川の生き物調査をやってみたい。」等の発言があり、隊員の意欲や興味をうまく引き出し、活動の見通しを持てるように工夫していた。	適
4 平成27年4月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト①	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 形態：日帰り	参加者数：18家族63人 ・スタンプラリー ・ミニゲーム	昨年と比較し、3倍以上の参加者があった。保育園、幼稚園にもチラシを配付した広報活動の成果であると感じる。また、ミニゲームのブースをたくさん設けたことで、スタンプラリー後にもゆっくりと家族そろって過ごすことにつながった。	適
5 平成27年4月25日(土)、 26日(日) 春のワクワクふれあい祭	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 形態：日帰り2日間 4施設合同イベント	参加者数：延べ3,800人 25日：900人 26日：2,900人 ・体験コーナー ・模擬店 ・クラフト体験	毎年、春秋2回、近隣の4施設合同で開催している恒例のイベントでは、地元だけでなく、市外からも来場してもらえるように根付いてきている。少年自然の家が地域の行事に対して積極的に関わり続けてきた成果だと評価できる。	適
6 平成27年5月2日(土)～ 3日(日) まるごと自然の家! (指導者養成)	対象：高校生、大学生 募集人数：20人 形態：1泊2日	応募者数：8人 参加者数：8人 ・野外活動の実践 ・テント泊	リーダーとしての意識を持ち、事業スタッフとしてのスキルアップをねらいとして行っていた。参加者から、「実際に自分たちが体験した事で、子ども達を相手にした時にどうすればいいか、どんな流れで行うのかを知ることができ、いろいろと考えるきっかけになった。」という感想が聞かれた。しかし、スタッフ登録者の出席が低く、日程を調整するなど、出席率の向上に取り組む必要がある。	適 (条)
7 平成27年5月9日(土) ～10日(日) RED隊②	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：1泊2日	参加者数：38人 ・テント設営 ・野外炊事 ・キャンプファイアー ・自然体験	自然の家での様々な活動を通して、リーダーとしての人材を育てることねらいとし、今回はテント泊を取り入れ、長い時間を仲間と協力して行動する内容であった。野外炊事やテント設営・撤去等、役割分担を自分たちでできるように職員が計画を十分に練り、支援していた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
8 平成27年5月17日(日) グリーン隊②	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：13人 ・五感を使って自然とふれあう ①同じ匂いの葉っぱを探す ②ルリタテハの幼虫観察 ③クリタマバチ、ナラメリンゴフシの虫の観察	参加者は生き物を探すだけでなく、観察にも積極的に進んでいた。参加者を惹きつけるプログラムを計画・実施できた。 また、予想以上に気温が高くなったが、適宜、水分補給をするなど安全面に配慮できていた。	適
9 平成27年5月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト②	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：69家族269人 ・茶摘み ・手もみの製茶体験 ・茶摘娘に変身	広報やチラシの効果で、想定以上の参加者があった。そのため、待ち時間が発生してしまった。体験内容は好評であるため、次年度以降、自然の家ならではの活動を考え、待ち時間もうまく過ごしてもらえようように改善していく必要がある。	適 (条)
10 平成27年5月23日(土) 森のようちえん事業 「ウリ坊隊」①	対象：幼児（5歳児） 募集人数：15人 形態：日帰り	応募者数：87人 参加者数：18人 ・ツリーハウス登頂 ・絵本の読み聞かせ	定員の約6倍もの応募があった。こういった幼児のうちから自然に触れられる機会を設ける企画はニーズも高く、青少年の育成の上では意義のあるものと思われる。子どもたちも楽しく活動しており、保護者もその活動を楽しく見守っている様子が伺えた。	適
11 平成27年5月31日(日) 自然の家の生き物見つけ隊①	対象：4歳～小3（家族や大人を含むグループ） 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：94人 参加者数：84人 ・生き物探し ・野外炊事	「子どもが生き物好きで参加したいと言ったので、私は仕方なく連れてきました。」と話してくれた保護者がいたが、前半の生き物の特徴や種類をクイズ形式やデモンストラーションを通して学んだことで、後半の活動では、子どものように無邪気に網を持って魚やカエルを追っている姿が見られた。	適
12 平成27年6月6日(土)～7日(日) ちびっこアウトドアお泊りキャンプ	対象：小1～小3 募集人数：30人 形態：1泊2日	応募者数：271人 参加者数：30人 ・テント泊 ・キャンプファイアー ・野外炊事	「低学年の子ども達にも参加できる事業をしてほしい。」というアンケートの声を反映し、始めた事業である。応募者数は定員の9倍と、そのニーズの高さがうかがえた。内容はマッチでろうそくに火をつけることなど普段の生活において経験する機会が少なくなった、自然の家だからこそ体験できることを準備し、行った。保護者からも好評であった。	適
13 平成27年6月14日(日) RED隊③	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：34人 ・野外ゲーム ・野外炊事	チームとして活動する意識を高めるため、協力して行うゲームを取り入れていた。楽しいだけでなく、お互いに声を掛け合ったり、他のチームへアドバイスを送ったりと、全体の雰囲気がとても良かった。職員が意図したとおりに事業が進んでいた。	適
14 平成27年6月20日(土)～21日(日) グリーン隊③	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：1泊2日	参加者数：13人 (ボランティアリーダー：2人) ・内部川水生生物観察 ・内部川水質判定 ・ライトトラップ（虫の観察） ・森の生き物観察	専門指導員のもと、川の生き物の種類から、水質判定を行ったり、室内用のプログラム（モリアオガエルの卵塊観察等）を実施したりし、参加者は時間を忘れるぐらい集中して活動をしていた。	適
15 平成27年6月21日(日) 家庭の日応援プロジェクト③	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：11家族36人 ・父の日のプレゼントづくり	室内で活動できるように準備がしっかりとできていたが、大雨のためか、参加者が少なかった。自然の家＝外での活動というイメージがあるためかもしれない。事前の広報活動の中で、雨天時でも室内で活動できる旨をアピールする必要があると感じた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
16 平成27年6月27日(土) 森のようちえん事業 「ウリ坊隊」②	対象：幼児（5歳児） 参加者固定：18人 形態：日帰り	参加者数：17人 ・ふれあいの森探検 ・絵本の読み聞かせ	自然を感じられるプログラムを毎回計画している。今回はふれあいの森で新緑を感じる内容であり、活動の初めに絵本でいろいろな葉っぱがあることを伝え、その後、森に入り、葉っぱを触ったり、色を観たり、においを嗅いだりし、たたき染めに取り組むという活動の流れであった。5歳児の体力にも配慮し、無理のないように実施できていた。	適
17 平成27年7月5日(日) 自然の家の生き物見つけ隊②	対象：4歳～小3（家族や大人を含むグループ） 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：176人 参加者数：24人 キャンセル：16人 ※天候不順のため内容変更 ・四日市西高校の水槽見学	事前に外での活動が困難になるとの天気予報が出ていたことから、雨用のプログラムに切り替えた。その旨を参加者グループの代表者に全て確認をとり、了承された方々のみで実施することにした。予定していた内容ができず、残念ではあったが、職員が行った丁寧な説明は、混乱を招くことにはならなかったため、良い対応であった。	適
18 平成27年7月11日(土) グリーン隊④	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：12人 ・葉っぱの観察	生き物に興味のある子どもたちが参加しているが、葉っぱ図鑑という主体的に取り組めるような仕組みがしてあったり、ヤマモモという食べられる実を探させたり、一層興味を持てる内容であった。	適
19 平成27年7月12日(日) RED隊④	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：36人 ・カヤック体験 ・野外炊事	気温が高くなり、活動に集中できていない参加者が多くいた。計画を実行していくのは大事だが、参加者の様子を的確に把握し、休憩をはさんだり、言葉かけ等で意識を活動に向けさせたりするというスキルを職員は身につけており、うまく対応できていた。	適
20 平成27年7月19日(日) 家庭の日応援プロジェクト④	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：199家族720人 ・川遊び ・縁日遊び	天候に恵まれ、多くの家族に利用してもらえたこと、企画した川遊びの内容は良かった。しかし、多くの家族が集中し、敷地内を流れる小川の人口密度が高くなり、危ないと感じる時間帯もあった。当日の天候から小川に人が集まることは予測が可能だったと考えられることから、安全面を優先して運営を行えるように、運営方法を検討する必要がある。	適 (条)
21 平成27年7月25日(土) ちびっこアウトドア デイキャンプ	対象：小1～小3 募集人数：30人 形態：日帰り	応募者数：209人 参加者数：40人 ・川遊び ・マッチ火付け体験 ・焼きそばづくり	職員だけでなく、ボランティアリーダーもついて、参加者が安全安心して活動できるように運営されていた。参加者に初めてしたことを探ねるとマッチを使ったことという返事が一番多かった。自然の家が果たす役割は大きいと感じ、今後もいろいろなニーズや子ども達の実態を把握し、事業に反映してほしい。	適
22 平成27年7月26日(日) 夏休みの自由研究 ～木のおもちゃ～	対象：小1～小3 募集人数：20人 形態：日帰り	応募者数：123人 参加人数：87人 ・木のなげわづくり	募集人数を大幅に超える応募があり、ボランティアスタッフを増員して、より多くの声に対応していた。のこぎりで木を切る活動では、農芸高校の生徒にボランティアを依頼し、学校で学んだことを活かしながら補助できていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
23 平成27年8月6日(木) アウトドアセミナー①	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：45人 参加者数：45人 ・野外炊事の基本 (理論と実技)	教育委員会事務局指導課との連携事業で、若手教員のための研修会である。経験の少ない野外炊事やふれあいの森を活用したオリエンテーリングの指導の仕方を実技を通して、自然の家の職員が行った。青少年の健全育成の担い手である教員に対して、自然の家の果たす役割が大きいと感じた。	適
24 平成27年8月7日(金) アウトドアセミナー②	対象：市内の小中学校教諭 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：16人 参加者数：16人 ・自然体験活動 (理論と実技)		適
25 平成27年8月9日(火)、 10日(水)、11日(木) 家族でカヤック体験	対象：家族・グループ 募集人数：160人 (各回10組20人、4回) 形態：日帰り3日間	応募者数：455人 参加者数：311人 ・親子でのカヤック体験	大人気事業であり、「応募してもなかなか当たらない。」という声を他の事業に参加した方からよく聞いた。今年度も募集人数を大幅に超えたが、回数を増やすことで対応していた。指導にあたる職員は、事前に研修を積み、陸上と水上からそれぞれ監視にあたり、安全面には十分な配慮をしていた。	適
26 平成27年8月16日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑤	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 形態：日帰り	参加者数：135家族506人 ・川遊び ・縁日遊び	7月の家庭の日応援プロジェクトに引き続き、川遊びを計画したが、川遊びだけに人が集中することのないよう、今回は、ザリガニ釣りや釣当てるなどの遊びもできるように場を設定していた。参加者の9割は、号外チラシを見てきたという結果から、広報活動の成果が見られた。	適
27 平成27年8月18日(火)～ 19日(水) ジュニアボランティア リーダーキャンプ	対象：ジュニアボランティア 登録者 参加者固定 形態：1泊2日	参加者数：21人 ・野外炊事 ・火起こし体験 ・テント泊	家庭の日応援プロジェクト等、参加が自由な主催事業において、運営の協力をしているジュニアボランティアリーダーに対して、さらに野外炊事等のスキルアップを目指して行われた。火を扱う時の服装については安全面を考慮して、長袖長ズボンで行うなど徹底させていた。その他の火起こし体験では、マッチを使わずに火起こしに挑戦という内容で参加者は意欲的に行っていた。	適
28 平成27年8月22日(土) 自然の家の生き物見つけ隊③	対象：4歳～小3(家族や大人を含むグループ) 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：158人 参加者数：61人 ・生き物探し(バッタ)	急な天候崩れがあり、午前の予定を早めて昼休憩をとったが、臨機応変に対応したことで、トラブルになることはなかった。担当職員は常に事務所と連絡をとり、今後の雲の流れの予想を観ながら活動の行っていた。このような場面でも、参加者の安全面への配慮を行った運営ができてしていると判断できる。	適
29 平成27年8月23日(日) グリーン隊⑤	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：11人 ・セミの抜け殻観察	抜け殻が付いていた木や抜け殻の向き、地面からの高さを記録するという観察の視点が、セミの種類の見つけ方であるということ子ども達は初めて学び、いい経験となっていた。このようにグリーン隊ならではの活動は、参加人数が少なくても大切にしていきたい。	適
30 平成27年8月24日(月) ～26日(水) エンジョイ!夏キャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 形態：2泊3日	応募者数：107人 参加者数：38人 キャンセル：2人 ・テント泊 ・カヤック体験 ・野外炊事 ・基地づくり	台風15号の影響が心配されていたが、事前の計画がしっかりとこなされ、随時状況把握に努め、臨機応変にプログラムを実行できていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
31 平成27年8月29日(土) 森のようちえん事業 「ウリ坊隊」③	対象：幼児（5歳児） 参加者固定：18人 形態：日帰り	参加者数：17人 ・魚つかみ ・川遊び ・絵本の読み聞かせ	その日の活動の流れがホワイトボードにイラストと共に描かれており、5歳児にも分かりやすく工夫されていた。参加者の様子を常に観察しながら声をかけており、活動全体の雰囲気はとても和やかであった。	適
32 平成27年9月6日(日) 森のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 携帯：日帰り	参加者数：965人 ・自然と生き物とのふれあい 体験活動	天候が雨であったため、屋外でのプログラムは中止し、屋内や体育館下を活用して実施していた。アンケートから、チラシ配布外の地域からも参加していただいていることが分かり、ホームページ等の広報活動の努力の成果が表れている。	適
33 平成27年9月12日(土)～ 13日(日) RED隊⑤	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：1泊2日	参加者数：35人 ・体験遊びリンピック準備 ・野外炊事	10月に予定されている「子ども体験遊びリンピック」の企画・準備が主な活動内容であった。参加してもらう方に満足し、楽しい時間を過ごしてもらえるように、何をどのように行つか、説明の仕方はどうするか等の話し合いが積極的に行われていた。子ども達も分かりやすい目標設定ができ、運営できていた。	適
34 平成27年9月20日(日) グリーン隊⑥	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：13人 ・バッタ探し ・バッタ観察	バッタは棲息している場所(草の高さの違い)によって、種類が違ってくるかを調査する内容であった。触角の長さの違いがあり、子ども達は図鑑も見ながら、草の長さでバッタの種類が違うことの原因を考え、有意義な活動となるよう計画・運営できていた。	適
35 平成27年9月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト・⑥	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：48家族137人 ・動物クイズラリー ・親子遊びコーナー	ふれあいの森の中にコースを設定し、自然の家で見ることのできる動物をテーマにクイズラリーを行った。動物の足跡を探したり、鳴き声に耳を澄ませたりという内容を家族そろって楽しんでいた。気軽に楽しめる内容を企画運営できていた。	適
36 平成27年9月21日(月) 少年自然の家杯ファミリー グラウンドゴルフ大会	対象：家族 募集人数：なし（星の広場開放） 形態：日帰り	参加者数：157人 ・グラウンドゴルフ	新規事業。毎月地元の老人会が星の広場を利用していただいでおり、ルール説明やコツ等をその団体にご協力いただいて、運営を行った。家族での参加は多いが、祖父母と孫のグループでの参加者もあり、幅広い年代の方に喜ばれた。	適
37 平成27年9月27日(日) アウトドアクッキング	対象：家族 募集人数：50人 形態：日帰り	応募者数：211人 参加者数：62人 ・石窯を使ったパンやピザづくり	野外での調理体験は人気が高く、毎年応募してくれるリピーターの家族が増えてきた。計画だけでなく、運営についても、参加者の満足度が高くなるよう努力している結果である。 石窯で焼くピザやパンはとておいしく好評である。	適
38 平成27年10月3日(土)、 4日(日) 秋のわくわくふれあい祭り	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 4施設合同イベント 形態：日帰り	参加者数：延べ5,150人 3日：2,250人 4日：2,900人 ・クラフト ・ステージ ・体験コーナー	星の広場では特設ステージを設置し、ダンスやマジック等、バラエティにシヨールを実施した。参加者は延べ5,000人を超え、自然の家の知名度の向上がうかがえた。運営面で、突風の影響でテントが飛ばされそうになる事案があった。様々な状況を想定し、テント等の脚は固定補強を行うなどの措置を指導した。	適 (条)

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
39 平成27年10月10日(土)～11日(日) 山のぼり隊	対象：小4～中3 募集人数：24人 形態：1泊2日	応募者数：23人 参加者数：21人 ・クラフト ・御在所登山 ・野外炊事	高校の山岳部顧問と部員にボランティア協力依頼し、きめ細やかなサポートを参加者に対して行っていた。当日の天候で予定していたスケジュールを指導者と相談のうえ、臨機応変に対応できていた。混乱なく、安全に十分な配慮を行い、実施できた。	適
40 平成27年10月12日(月) レッド隊⑥	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：33人 ・子ども体験遊びリンピック運営	前回のRED隊で計画した内容の運営をRED隊のOB・OGとともにに行った。参加者の笑顔を見て、隊員も笑顔になり、達成感を味わうことができた。回を重ねるごとに隊員同士の連携がかなりできるようになってきている。人材育成として行われている事業が軌道に乗ってきている。	適
41 平成27年10月12日(月) 子ども遊びリンピック	対象：家族・一般 募集人数：なし（星の広場開放） 形態：日帰り	参加者数：750人 ・空き缶積チャレンジ ・竹馬 ・10秒当て ・紙飛行機飛ばし	職員が全般的な管理を行い、様々な体験コーナーの企画・運営をRED隊が担当し、円滑に進められていた。遊びの内容が分かりにくいという昨年度の声から、コーナーの表示や説明の仕方等に改善が見られ、参加者が戸惑うことなく、大人も子どもも気軽に楽しめるよう工夫されていた。	適
42 平成27年10月18日(日) グリーン隊⑦	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：11人 ・トンボの採集と観察	野外炊事場や大門池広場周辺でトンボの捕獲を行い、その後、種類と数を記録する活動を計画していた。しかし、トンボの数が今年は少なく、活動の時間配分に困っていた。計画段階で、トンボがあまりいなかった時を想定し、カマキリでも同じような調査ができるように準備していたが、そのカマキリも少なかった。生き物・自然を相手にするプログラムのため、難しい面があると思うが、さらに準備を準備しておく必要がある。	適 (条)
43 平成27年10月18日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑦	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：17家族47人 ・親子遊びコーナー ・スタンプラリー	ふれあいの森の中でスタンプラリーを実施したが、コースではない道については、ロープを張り、行くことができないようにしてあり、幼い子でも迷うことがないよう配慮されていた。どんぐりなどの木の实を探しながら、家族そろって楽しめるように工夫されていた。	適
44 平成27年10月31日(土) 森のようちえん事業「ウリ坊隊」④	対象：幼児（5歳児） 参加者固定：18人 形態：日帰り	参加者数：18人 ・木の実や葉っぱ探し ・絵本の読み聞かせ	全体で活動の内容を確認した後、小グループごとにふれあいの森へ入り、木の実や葉っぱを集めた。そして、集めた素材を使って参加者が思い思いの発想で創作活動ができていた。「こんなふうにしてみたい。」という声に対応できるよう準備ができていた。	適
45 平成27年11月8日(日) RED隊⑦	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：27人 ・クリスマスパーティー準備	雨天のため、屋外プログラムを変更し、屋内で次回の計画・準備を行った。お互いの関係ができてきたこともあり、活発に意見を出し合う姿が見られた。隊員の様子を丁寧に観察し、把握しているからこそ、隊員も安心して参加できている。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
46 平成27年11月15日(日) グリーン隊⑧	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：11人 ・木の種探しと観察	自ら移動できない植物は、どのようにして分布を拡げていくのか、様々な種類の種を採取し、その移動手段を学ぶ内容であった。隊員が採取した種の分類に時間がかかり、まとめの時間が少なくなってしまう。いい内容であるため、時間配分や午後からも活動できるようにプログラムを組むなどの必要がある。	適 (条)
47 平成27年11月15日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑧	対象：家族・一般 募集人数：なし(施設開放) 形態：日帰り	参加者数：11家族33人 ・葉っぱのお面づくり ・親子遊び	秋の自然を感じられるよう、ふれあいの森を散策したり、落ち葉でお面づくりをしたりと親子で楽しめる内容を実施できた。また、動物探しラリーの館内版も準備していた。1家族以外リピーターであった。自然の家が周知されてきたことが分かる。	適
48 平成27年11月22日(日) 茶っ都マーケット	対象：家族・一般 募集人数：なし(星の広場開放) 形態：日帰り	参加人数：5,330人 ・様々な体験や遊びのブース	水沢地区地元のイベントに、自然の家も星の広場で遊び体験ブースを運営して協力していた。10/12に実施した「子ども遊びリンピック」と同様に様々なブースの運営をRED隊の子どもたちが中心となって行い、参加者からは好評を得ていた。	適
49 平成27年11月23日(月) もみじ祭り歩こう会	対象：家族・一般 募集人数：なし(共催事業) 形態：日帰り	参加人数：92人 ・歩こう会の運営(少年自然の家から宮妻峡まで)	職員が先頭・中・最後尾にそれぞれついて、参加者のペースに合わせて一緒にゴールまで歩いていた。参加者が景色や会話を楽しみながら、でも安全にゴールできるよう、職員は無線で連絡を取り合いながら地元のイベントに貢献していた。	適
50 平成27年11月28日 (土)、29日(日) 木のクリスマスリースづくり	対象：家族 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：182人 参加者数：71人 28日 14人 29日 57人 ・クリスマスリースづくり	今回も、応募者が想定以上に多く、少しでも多くの方に参加してもらえるように1日追加して実施した。多くの声にできる限りこたえていこうとする職員の姿勢が感じられた。運営に関しても、見通しを持ちやすい掲示や説明、作業に必要な道具の準備が整っていた。また、参加者に笑顔で話しかけ、参加者と職員の交流もあり、いい雰囲気の中で進められていた。	適
51 平成27年12月5日(土)～ 6日(日) ミステリーキャンプ	対象：小4～中3 募集人数：40人 形態：1泊2日	応募者数：37人 参加者数：35人 ・11種類のサイエンス実験 ・野外炊事	11の実験をミッション形式で実施し、班で協力しながらクリアを目指すという内容であった。「テレビでも見たことがある実験ができておもしろかった。」「難しかったけど、友達とできて良かった。」等、参加者から満足度の高い感想があった。 しかし、予備実験が足りなかったという職員の反省があり、怪我をする恐れのある場合には事前確認を行う等、今後改善する必要がある。	適 (条)
52 平成27年12月19日(土) 森のようちえん事業 「ウリ坊隊」⑤	対象：幼児(5歳児) 参加者固定：18人 形態：日帰り	参加者数：16人 ・焚き火体験 ・絵本の読み聞かせ	この時期にたくさんある落ち葉を利用して焚き火を行うことで、火の温かさや怖さを体験させることをねらいとして行った。参加者は5歳児であるため、集中力が長時間持続しない点を踏まえて、手遊びや絵本の読み聞かせ等の活動をうまく組み合わせて実施していた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
53 平成27年12月19日(土) 手づくりミニ門松づくり	対象：家族 募集人数：40人 形態：日帰り	応募者数：294人 参加者数：48人 ・自然素材のミニ門松づくり	家族単位での活動が中心であったが、参加者同士が交流できるように自然の家玄関用の大きな門松をみんなで一緒に作る活動が計画されていた。完成した門松の前で記念撮影をする家族もいた。その後に製作するミニ門松の完成イメージがわかりやすいプログラムであり、運営の仕方に工夫されていた。	適
54 平成27年12月20日(日) グリーン隊⑨	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：13人 ・バードウォッチング	日本野鳥の会から講師を招き、野鳥と木の葉の観察を通じて、どの気になんか野鳥が来るのかを学ぶ内容であった。足音だけでなく、ちよとした声でも野鳥は逃げってしまうことから、たくさん観察はできなかったが、グリーン隊ならではの貴重な体験ができるよう企画運営されていた。	適
55 平成27年12月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑨	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：19家族61人 ・自然の家のクリスマス ・親子遊び	寒さ対策のため、たき火が設置され、参加者から喜ばれていた。また、クリスマスの雰囲気を感じられるよう、自然の物を使って工夫した運営が行われていた。	適
56 平成27年12月23日(水) RED隊⑧	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：35人 ・クリスマスパーティー	前回のRED隊で決めた役割分担をもとに、クリスマスパーティーを隊員同士が相手をもてなす気持ちで実施した。自分たちでレクリエーションも行い、計画通りに進められるようになってきた。	適
57 平成28年1月11日(月) RED隊⑨	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：36人 ・ふれあいの森看板づくり	昨年7月に四日市ロータリークラブから寄贈していただいた木製遊具の名称が公募で「これもれび広場」と決定した。その看板づくりを隊員みんなで作成した。大きな看板を人数で分割し、一人ひとりが製作に関わり、一つの物を作り上げられるように工夫されていた。	適
58 平成28年1月17日(日) グリーン隊⑩	対象：小3～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：13人 ・里山保全学習 ・間伐材伐採	里山の森は生き物が生息する場所として必要なこと、その里山の森を守るためには、間伐が必要なることをイラストで学んだ後、実際に里山保全活動を行った。隊員にとって、大好きな生き物を守るために、みんな一生懸命に活動できていた。	適
59 平成28年1月17日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑩	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：25家族86人 ・昔遊びの体験 ・創作活動	自然の家の初遊びと題して、BIGだるま落とし、こま回しや福笑いなど昔ながらの正月らしい遊びが楽しめるようにされていた。また、各コーナーとも十分な距離をとって配置し、安全面にもしっかりと配慮した運営ができていた。	適
60 平成28年2月6日(土)～7日(日) 思っきりスキー	対象：小4～中3 募集人数：30人 形態：1泊2日	応募者数：46人 参加人数：30人 ・2日間のスキー ・雪山体験	事前に参加者のスキーレベルを把握した上で、レベルごとにグループを編成し、鈴鹿スキークラブから講師を招いて実施した。また、グループには、職員のほかスキー経験者のボランティアスタッフを配置し、参加者へ優しく丁寧に補助するだけでなく、休憩時間に参加者同士がつながるよう良いつなぎ役となっていた。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
61 平成28年2月14日(日) グリーン隊⑩	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：10人 ・冬芽、葉痕の観察	ふれあいの森で1人20種類を目標とした冬芽の採取・観察を行った。参加者は意欲的に取り組んでいた。季節に応じた内容を実施し、冬の自然に触れる活動を行っている。	適
62 平成28年2月21日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑪ 森のオープンデー	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：1,680人 ・木の遊びブース ・創作活動	自然の家で普段できる創作活動だけではなく、バードウォッチングや木のジャングルジムのブースを民間の団体に協力してもらうなど、それぞれの良さを合わせて、事業を運営できていた。広報活動において、号外チラシを作成・配布する努力が参加者数に現れている。	適
63 平成28年2月27日(土) 森のようちえん事業 「ウリ坊隊」⑥	対象：幼児 参加者固定：18人 形態：日帰り	参加者数：18人 ・思い出のDVD鑑賞 ・修了式	年間6回の連続講座の終了にあたって、これまでの振り返りを行う内容であった。それぞれの回で撮影した写真をスライドショーにしており、子どもたち自身にも分かりやすく、かつ興味を惹く内容にまとめられており、保護者からも大変好評であった。職員構成の関係から、本年度限りの事業である。保護者からは惜しむ声が聞かれるぐらい良い事業であった。	適
64 平成28年3月12日(土) 化石ハンター	対象：小4～中3 募集人数：40人 形態：1泊2日	応募者数：37人 参加者数：34人 ・化石採掘体験 ・化石みがき ・化石の学習	化石を採取する場所への移動や活動する場所での注意を細かく丁寧に話し、参加者の安全に十分配慮して実施できた。講師には、地学が専門の元小学校長を招き、化石にはとてもたくさんの種類があることや化石がどうしてできるのか等の話もあり、楽しく実技を交えて学ぶ機会を提供していた。	適
65 平成28年3月13日(日) レッド隊⑩	対象：小4～中3 参加者固定：40人 形態：日帰り	参加者数：33人 ・修了パーティー ・修了式	1年間の集大成として、野外炊事の実施と終了パーティーを行った。参加者が手際よく準備を進め、他班が遅れていたら手伝うなど、仲間と協力し、課題を解決する力を養うという年間目標を達成することができていた。	適
66 平成28年3月20日(日) グリーン隊⑫	対象：小4～中3 参加者固定：14人 形態：日帰り	参加者数：14人 ・生き物の痕跡探し ・修了式	1年間の集大成として、班ごとに自分たちでテーマを設定し、生き物を観察・記録したことを発表した。生き物の他、キノコなどを探した班もあり、1年間の活動を通じて参加者が昆虫以外にも興味を持つことで視野が広がったことを確認できた。	適
67 平成28年3月20日(日) 家庭の日応援プロジェクト⑫	対象：家族・一般 募集人数：なし（施設開放） 形態：日帰り	参加者数：12家族44人 ・小枝の飾りつけ ・自然観察	花形に切り抜いた紙を枝に貼る活動では、グルーガンを使用していたが、参加した小さな子どもたちでも安全に作業できるように職員やジュニアボランティアリーダーが保護者に注意事項を伝えたり、作業中の言葉がけや見守りを行ったりして、運営できていた。また、2月の家庭の日応援プロジェクトで好評だった「バードウォッチング」を今回もできるように、双眼鏡の貸し出しを行っていた。参加者のニーズを把握して対応している。	適

項目	実施計画	実施内容	検証・分析等	適否
68 平成28年3月27日(日) ジュニアリーダー トレーニングキャンプ	対象：ジュニアボランティア 登録者 参加者固定 形態：日帰り	応募者数：36人 参加人数：36人 ・春の自然や体験活動 ・ボランティア参画事業	ジュニアボランティアとして、自然の家の事業を手伝う際に、どのような態度で参加者に接するといいいのか、また安全安心に活動してもらうためには、どのようなことに気を付けておかなければいけないのかを学ぶ研修として位置付けられていた。具体的な場面で考えられるように工夫されていた。	適

総合コメント

施設の設置目的に沿い、自然体験事業や人材育成事業が積極的に実施されました。本社の安全監査委員会の指導の下、安全管理マニュアルを全職員で見直し、それに基づき、参加者の安全を第一に、無理することなく事業の実施や変更、中止の判断を的確に実行できています。スタッフの創意工夫のもとバラエティー豊かなプログラムが提供されました。職員全体で打ち合わせや下見に充分時間をかけ、周到な準備の下に実施されました。参加しにくい冬場も利用率を上げる努力をし、ニーズに合った事業となっていました。また、応募型の事業について、募集予定人数を大きく上回った事業がいくつかありましたが、柔軟に対応できる部分もあり、利用者的大幅な増加に寄与しています。一方、ジュニアボランティアリーダーは、来年度からジュニアスタッフと名称を変え、主催事業の多くで運営補助をする役割となります。青少年の健全育成という観点において、運営補助だけでなく、さらに子どもたちが力を発揮できるよう企画にも参画できる場面を設定するなど、質の高い人材育成に寄与する事業の実施を期待します。

平成27年度 少年自然の家及び水沢市民広場 設備・備品の維持管理状況 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
総則	意思疎通	市と指定管理者の責任者との間で十分に連絡がなされているか	現地確認	毎月実施している調整会議のほか電話・メール等でも連絡を密に取っている。	適
	記録	整備・修繕・事故・故障の履歴は整備、保管されているか	書面確認 現場確認	毎月実施している調整会議で点検結果表を確認。適切に保管されている。	適
建築物保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	市担当者が確認。適切に実施されている。	適
設備保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認。	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現地確認	市担当者が確認し、適切に実施されている。	適
備品・什器等保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
外構施設保守管理	点検保守	点検によって異常が認められる場合は、速やかに修繕、交換、分解整備、調整等を行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		不具合が生じた場合の報告を適切に行っているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
		修理、更新が必要な場合は原因等を含めて速やかに報告しているか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適
	修理	修繕工事は適切であったか	書面確認 現場確認	月次報告書及び調整会議で現場確認	適

総合コメント

少年自然の家は、建築後、本館（昭和62年建築）は29年、分館（昭和48年建築）は42年経過しているため施設修繕の機会が増えていますが、専門性が高いものを除き、職員や作業員が修繕を行うことで経費削減に努めています。経年劣化に伴う軽微な不具合についても、毎月開催する市と指定管理者との連絡調整会議において確認しています。

平成27年度 少年自然の家及び水沢市民広場 サービスの質 チェックシート

分類	対象	項目	確認方法	検証・分析等	適否
運営業務	使用許可、利用料金の徴収	スムーズに予約できたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		許可証は速やかに発行されたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	施設・利用案内	行事開催案内の時期は適切か	書面確認	市広報、ホームページ及び募集チラシを確認。適切に実施されている。	適
		ホームページは見易いか	HP確認	適切に作成されている。	適
	受付・応対業務	担当者の接客態度は良かったか	アンケート結果及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		使用者に対する指導は適切であったか	アンケート結果及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		業務従業者は名札を着用しているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
運営業務	講座やイベントは満足できる内容であったか	アンケート結果及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。自主事業について市職員が現地でモニタリング実施。適切に実施されている。	適	
維持管理業務	施設・設備の保守管理業務	施設が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	アンケート結果及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		設備が利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	アンケート結果及び現地確認	利用者アンケート結果「大変満足」「満足」を選択された割合。毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	清掃業務	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		全体的（駐車場を含）に、見た目清潔に保たれているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	警備業務	避難経路には障害物がないか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	外構・植栽管理業務	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		樹木・花壇は見栄え良く管理されているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
		草刈りや除草はされているか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	環境衛生管理業務	快適に利用できる環境となっていたか	現地確認	毎月の調整会議において現地で確認。適切に実施されている。	適
	廃棄物処理業務	廃棄物は適切に分別が行われていたか	現地確認	適切に実施されている。	適
	備品管理業務	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか	現地確認	適切に実施されている。	適

総合コメント

施設利用者及び主催事業参加者に施設利用等の満足度及び改善点のアンケート調査を行い、指摘及び要望については、職員間で情報共有し、速やかな対応に努めています。
職員間で入念な打ち合わせを行うことによる準備、現場状況の的確な把握により、サービスの質の向上に努めています。